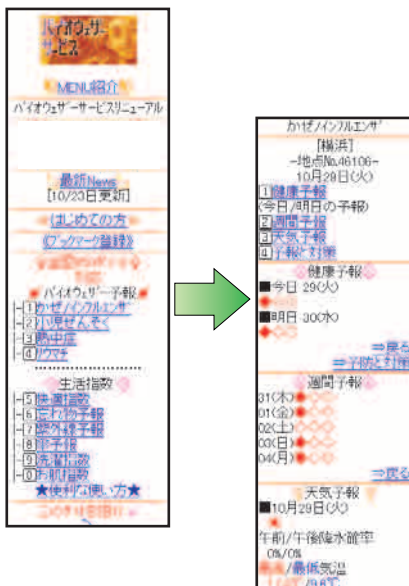


携帯電話版バイオウェザーサービス

当社は株式会社キャラバンと協力して、2002年9月12日から、気象情報を基に病気や体調の予報を行うバイオウェザーサービスの携帯電話版(iモード)の提供を開始しました。

このサービスは、ぜん息などの病気に対して注意が必要な気象状況かどうかを予測するサービスで、ぜん息のほか熱中症、インフルエンザ、リウマチ、うつ病、脳卒中、心筋梗塞など、気象条件に左右されやすい疾病を順次追加していきます。また、紫外線、忘れ物、快適指数などの日常生活にかかわる様々な予報を広くカバーしていきます。

現時点ではiモードで無料提供中ですが、2003年には個人の症状に合わせて、個人ごとの予報を提供する双方向型のサービスを有料で提供する予定です。J-SKY(J-PHONE)、EZweb(KDDI)にも順次拡大していきます。携帯電話版「バイオウェザーサービス」のアドレスは、全キャリア共通で、<http://www.bws.ne.jp/>です。



オンラインぜん息日誌

我々は、バイオウェザーサービスの一環として、利用者からの健康情報を取得して、その人の健康状態に見合った、精度の高い個別予報の仕組みを構築中です。現在、ぜん息患者を対象とした、「オンラインぜん息日誌」は試

験運用の段階に至っています。

オンラインぜん息日誌は、利用者の日常生活において、症状や薬剤の使用状況等をオンラインの日誌に記録し、さらに、通信機能を備えたピークフローメーターを使って症状の良し悪しをリアルタイムで集めます。これらの情報を基に、個人の気象に対する感受性を随時解析し、精度の高い予報を実現します。



オンラインぜん息日誌の予報表示画面 (イメージ)

バイオウェザーのユビキタス構想

バイオウェザーサービスは、次世代に向けた健康管理ツールとして、ユビキタスネットワーク社会における利用を想定したサービス展開を予定しています。FFNet社と進めているWebでのサービス展開、マスメディア向けの情報提供、MTI社と進めている携帯電話、通信カーナビ(トヨタG-BOOK)、KDDIのPDAポータルへの気象情報提供など、現在、様々なキャリアに対して行っているサービス基盤をベースとして、将来的には統合された気象・健康情報サービスとして、様々な生活シーンで自由に利用できる、利用者の立場に立った利便性の高いサービスを目指しています。これから迎える高齢化社会において、ますます重要性が高くなる病気の予防・健康管理に、大きく貢献できるサービスを目指します。